

研究課題名	血液透析導入がポリファーマシーに与える影響についての調査検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部 氏名 宗山 真梨奈
研究期間	2018年 5月 ～ 2020年 5月
研究の意義・目的	<p>ポリファーマシーとは薬剤の多剤併用のことを指し、慢性腎臓病（CKD）患者の7割以上がポリファーマシーであると報告されている。日本での血液透析（HD）患者の平均薬剤数が8剤を超える報告や、海外では10剤を超える報告もある。</p> <p>CKD患者は多くの合併症を有し、処方される薬の多くが腎疾患治療薬や循環動態に関連するものであることから、一般的な患者よりもポリファーマシーになりやすく、処方削減が難しい場合も多い背景がある。しかし、ポリファーマシーにより薬物関連有害事象のリスクや転倒の発生率の増加、アドヒアランスの低下などの問題も報告されており、併用薬剤は最低限にとどめるべきであると考えられる。</p> <p>本調査では、武蔵野赤十字病院（以下、当院）を受診した末期腎不全（ESKD）患者におけるHD導入前後の内服薬の処方内容および管理状況とポリファーマシーの現状について調査することを目的とした。また、HD導入に伴う内服薬の調整内容について調査することで、ポリファーマシーに与える影響について検討した。</p> <p>本調査で得られた結果から、HD導入患者における効果的なポリファーマシー対策のための情報を蓄積し、エビデンスを構築する一助になると考える。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>対象期間は2016年1月1日～2017年10月31日とする。</p> <p>調査対象期間内に当院でHD導入になったESKD患者を電子カルテより抽出し、抽出した患者を匿名加工情報として登録する。</p> <p>電子カルテを用い、対象患者の年齢、性別などの基礎情報に加え、HD導入前後の処方歴や併存疾患など、関連する事項を抽出する。</p> <p>HD導入前後の使用薬剤の変更に関連する要因を網羅的に集計し、多変量解析を行う。解析にはEZRを用いる。</p>
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①得られた情報は、本研究および本研究のデータを用いた異なる研究以外の目的では使用しない。研究実施に係る臨床データ等を取扱う際は、研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付して対応表を作成し連結可能匿名化を行い、研究対象者の秘密保護に十分配慮する。個人情報の管理を厳格に行うため、知り得た情報を病院外に持ち出すことはない。個人情報を扱った情報はUSBメモリーに保存し、武蔵野赤十字病院薬剤部内の施錠可能な場所に保管する。保存期間は研究終了より10年間とし、その後データを破棄する。研究の結果を公表する際は、研究対象者が特定できる情報を含めないようにする。 ②年齢や性別などの基礎情報、HD導入前後の処方歴や検査値など。 ③匿名化したデータに限り、本研究の共同研究者が利用する可能性がある。 ④試料・情報の管理者は武蔵野赤十字病院薬剤部 宗山真梨奈とする。
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合せ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 薬剤部 氏名 宗山 真梨奈 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525